

## 2020 年度第 2 回 N P O 法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2020 年 6 月 29 日（月） 午後 2 時 00 分から
- 2 場 所：国分寺労政会館 第 2 会議室（3 階） （国分寺市南町 3-22-10）
- 3 議決権のある理事：7 名  
出席者：座間直壯、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡、堀越洋一郎  
欠席者：なし  
事務局員の参加者：

### （1）第 1 号議案 会員の動向について【報告】

- ・2020 年 6 月 21 日現在  
正会員 83 名 2 団体 賛助会員 39 名 1 団体、計 122 名 3 団体（合計 125）  
（昨年度末 131 名 4 月 賛助会員 4 名退会、5 月 正会員 1 名、賛助会員 1 名退会）

### （2）第 2 号議案 2020 年度通常総会について【報告】

- ・5 月 31 日午後 2 時より、多摩デポ事務所において開催。
- ・出席者 65 名（本人出席 5 名、書面表決出席 47 名、委任状出席 13 名）だった。出席者は全議案に賛成、書面表決者は全員が全議案に賛成、議事録署名人に委任された委任状も全議案に賛成となり、全議案が可決された。
- ・会員には、総会報告を 6 月 7 日に送付した。
  
- ・異常事態の中で、予定していた会場も使えず、不本意な開催方法となった。しかし会員からは例年より多くの書面表決票、委任状が集まった。状況の中での選択として、今年度の開催方法自体は会員に支持されたと言えるのではないか。
- ・書面表決票、委任状に記入された意見を今後の活動にどう生かしていくか考える。  
（意見の一つに「市民アーカイブで寄付を 8,000 万集めるのは大変だった」とあるが、同団体に確認したところ当初の目標額が 8,000 万円で、達成額は 540 万円余りだったとのこと）

### （3）第 3 号議案 コロナ禍での公共図書館の運営をめぐる情勢について【報告・協議】

- ・6 月初旬に、府中市立中央図書館から、TAMALAS 一括処理システムの利用申請が出され、ID、パスワードを発行した（市として 1 ID）。これで、発行したのは 10 市となった。
- ・ただ、一括処理システムの利用実態は（トラブル関係や質問の問い合わせもないが）以前に聞いた国分寺市以外からはつかめないでいる。
- ・コロナ禍の休館中に、個別処理システムを大いに使って書庫整理をしているという情報は一市から聞いた。
  
- ・コロナ禍で、全国の図書館は、突然の休館や前例に学べない対応を強いられた。
- ・多摩地域の図書館も、各自治体ごとにさまざまな制限付きで開館と、制限付きのサービスの実施を始めたところである。多摩地域の情報については、不十分だが、別紙の資料参照。

- ・一方で、こんな時に図書館を役立ててもらおうと、可能な方法を模索しているという努力や姿勢が全体に見えてこない感じがあった。
- ・この間の各図書館現場の対応が妥当なものだったか、現在の対策及び対応が納得のいくものであるかの検討も必要であろう。
- ・日本図書館協会等、図書館全体の議論やアピールがどうだったか。  
(東日本大震災の時などとはずいぶん違う)
- ・多摩デポの立ち位置からも議論が必要ではないか。可能な時期に、可能な企画で、コロナ禍の図書館の動きのことは多摩デポ講座等で取り上げる必要があるのではないか。
- ・SAVE-MLAK の発信した全国情報やコメント等も参考にしながら議論したい。

(4) 第4号議案 コロナリスクを避けながらの今年度の活動の見通しについて【報告・協議】

- ・第3号議案や、第6号議案とも関連する。
- ・我々も動きにくい、多摩地域の図書館も動き出したばかり。今後の見通しを予測しながら、議論したい。
- ・現場の情報は断片的にしか入ってこないが、市議会ではいつになく図書館の開館やサービスのことが議員から質問されているとのことで、それは当然と思われる。

(5) 第5号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・共同研究の定例会は1月28日(火)に開催して以降、開けていない。
- ・カーリルから2月定例会の直前に、コロナ感染症が蔓延していくリスクがあるので、リアルな接触は避け ZOOM 会議に切り替えていきたいという提案があり了承したが、その後すすんでいない。3月末に課題と問題点についてカーリルにメールを送ったが、最近まで返事がなかった。最近ようやく連絡が取れたので、理事会で報告、議論する。

<現状報告>

- ・12月の定例会は、直前に迫っていた除籍資料担当者会の事前打ち合わせが主な内容だった。1月の会ではカーリル側からは、昨年9月に調布市でオープンブックカメラ(OBC)を使って多摩川を主題とした地域資料の画像を撮影したことに関連し、予定していたその画像の処理結果ではなく、調布市所蔵の地域資料の書誌データを「多摩デポ統合検索」にかけた資料が提出されて、少し議論した。
- ・今後は全体としては、TAMALAS の改良や多摩地域の図書館への説明事業が一段落したので、ISBNなし資料の同定をすすめることに注力する予定になっている。
- ・「多摩デポ統合検索」で ISBNなし資料の同定、判定の可能性を具体的に探るために、カーリルから検索データを預かり、多摩デポ側で分担してヒットの精度を調査し、次回の定例会に持ち寄るという予定になっている。オープンブックカメラで撮影する画像は、この同定作業に組み込める予定。

<評価、進め方>

- ・コロナ禍でもやれる方法で続けるしかない、実際に進めてほしい。また、前から宿題になっている作業もあるので、それには早急に対応してくれるように図ってほしい。

(6) 第6号議案 多摩デポ講座の企画と時期の検討について【報告・討議】

<総会で公表した企画について>

- ・新型コロナの影響で中止した山口源治郎氏の講演会を、懸念なく集会の開催が呼びかけられるようになったら行う。
- ・11月頃に開催できれば、ブックレットの年度内刊行も可能だろう。ただし状況を慎重に見極める必要がある。不安の中で無理にやることは避ける。
- ・都立中央図書館の見学会は、やれる時期を見極める必要がある。都立図書館側が団体の見学会の受け入れを再開するかが判断材料にはなる。
- ・東京都公文書館は国分寺市に開館し、個人見学は現在も可能になった。ただし開館前に電話で問い合わせたところ、団体見学の受け入れは考えていないとのことだった。

<それ以外の企画>

- ・現場の職員や館長の出席協力が得られるようなら、多摩地域の図書館のコロナ対応の報告や意見交換の会を持ちたい。秋口には開催できないだろうか。
- ・カーリルに全国の状況をオンラインで話してもらって、何人かが集まって聞く形はどうか。

(8) 情報交換

- ・各種届出等について
  - 5/25 武蔵府中税務署法人税申告（法人事業税0）
  - 5/25 調布市法人市民税申告・納付
  - 5/26 東京都法人市民税申告・納付
  - 6/3 東京都事業報告書等提出（郵送、6/4受理）
- ・事務所の整理

【多摩デポ記事】

- ・なし

【共同保存図書館関連論文】

- ・『公立図書館における蔵書構成・管理に関する実態調査報告書 2019年度（令和元年度）』  
2020年2月3日 全国公共図書館協議会
- ・『シェアード・プリントWG報告書』  
2020年6月 国立大学図書館協会学術資料整備委員会

【今後の予定】

- ★ カーリルとの共同研究 第46回定例会 月 日（ ）午後 時 分～  
会場：未定

※参加可能な人は集まり、カーリルと希望者はリモートでも参加できる形で開催。

- ★ 事務局会議(2020年度第3回) 7月下旬か

- ★ 次回の理事会 第3回理事会 2020年8月下旬  
8月 日（ ）午後 時 分～

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、清田義昭理事、堀越洋一郎理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2020年6月29日

議長

議事録署名人

議事録署名人